

日蓮聖人門連だより

発行
日蓮聖人門下連合会

〒146-8544
東京都大田区池上1-32-15
電話(03)3751-7181

平成23年9月23日
第44号

門連結成五十周年を迎えて 門連の過去と未来

本門法華宗
編集委員 木村光正

「夫れ仏法を学せん法は必ず先づ時をならうべし」(日蓮大聖人『撰時抄』)。

そもそも仏教を学び修行する方法は、どうしてもまず第一に「時」を知るといふことから始めなければなりません。

この「門連の過去と未来」との題をいただいて思い出したの

は、この御妙判の一節でした。日蓮大聖人ほど時を意識されて、行動された鎌倉期の祖師はいません。この視座をもって門連五十年の歴史を振り返ると、節目の聖年で行われてきた門連各記念行事は刮目すべきものがあります。昭和五十六年の七百遠忌の「日蓮聖人門下青年の船」に参加し、諸行事の一端を知るものとして、あの感激は忘れられません。

一方、時代は平成の御代となり、日本国も従前とは違う国になつてきたと感ずることも多い

です。殊にこの度の東日本大震災の惨状を聞く度にこの念を強くします。二十一世紀を迎えてもこの大災害、一人の人間としてのおのれの無力さに落ち込むばかりでした。しかしながら、菅民主党の呆れるばかりの無能さに対して、絶望の状況下で、泣き喚くのではなく、諦念ともいえる悟りにも近い心持ちで、復興に尽力する多くの人々の姿に接し感動しました。戦後日教組による曲解された民主主義・個人主義の果ての無縁社会ではなく、自らを犠牲にして助け合う絆社会。全世界を感動させた、緊急時における日本人の行動規範・品格。決して、自虐的になる必要などないと思えました。

戦後の価値観が激変しつつある現状を鑑み、今後日蓮聖人門下連合会の未来は？ 一人の無能な人間としてとても答えを出すことはかなわない課題ですが、あえて述べさせてください。もちろん日々門下各人・寺院・宗門で多様な対応・努力

力・精進は承知しておりますが、五十年前に門下各宗派・門流・教団は、歴史・伝統・教義を超えて、お互いを尊敬しつつ困難を克服して大同団結した経緯がございます。個人的にも門連だよりの一編集員として各宗派・門流・教団の門連に対する、様々な対応の度合いは存じております。ご宗内の事情もあ

めて頂きたい施策です。門連に理解ある旧知の方々の人脈・知識を活用化すべきと思えます。

例えば「門下青年の船」の大同窓会の開催の企画。三十年を経て参加団員の方々はいずれも住職または、宗内・門流・教団にても要職に就かれていますと考えられるので、これを門連の活性化の為に活用する。身延山・京都・東京など門連理事会開催地を中心に各地で、継続的に毎年開催する。宗派・門流・教団を超えて全国に青年であった団員が、存在するわけで、門連の各地区出張所となり得るのではないのでしょうか。未来を語るにはいささか年長者かもしれないが、この組織人脈を見逃すわけにはいかないと思えます。

高度情報化社会と言われているのに逆に、寺離れ・直葬・無縁社会・無宗教と現在の状況を考えると、きめ細やかな情報発信の対応が必要で、五十年の伝統ある門下連合会という組織を活用し、一般大衆に日蓮大聖人の大願を広める為にも、反省すべき点、改良すべき点、総括し時代に即応した体制を構築する為の特別委員会の設置が必要だと思えます。これも相澤先生のご提言と同じですが、今後の門連の発展のためにも是非設置の検討をすべきです。

門連の過去と未来という大きな命題のまえに、答えにならないものでしたが、日蓮大聖人の「時をならうべし」を念頭に愚考し、雑感を述べさせていただきます。

この度、推されて法華宗管長、総本山本成寺の貫首となりました石丸日然でございます。もとより浅学非才な私であります故、内局の皆様方のお荷物にならねば良いが、と心配しております。



法華宗本成寺貫首 石丸日然

さる四月十四日、法華宗(陣門流)総本山本成寺にて八十八世貫首・石丸日然猊下の入山式が執り行われ、管長に就任された。石丸新管長は昭和九年、静岡県湖西市の本山本興寺塔頭光明院に生まれ、同十五年、師僧転住に伴い山形県酒田市の真量院へ。東洋大学文学部仏教学科を卒業し、昭和四十六年五月に師僧より真量院十四世の法灯を継承、以来四十年間寺檀の繁栄に尽力された。その間、東北教区宗務所長、宗会議員、布教研究所員等の宗門重職を多年に亘り歴任、また地域にあつても町内会理事や、子供会会長等を勤め、地域社会にも甚大な貢献をされた。座右の銘は「日々是精進」。

この度、推されて法華宗管長、総本山本成寺の貫首となりました石丸日然でございます。もとより浅学非才な私であります故、内局の皆様方のお荷物にならねば良いが、と心配しております。それはさておき、まず最初にこの度の東日本大震災の被災者、犠牲者の方々に対して謹んでお見舞い申し上げます。命のあつたのが幸運と感謝しなればなりません。どうぞ一日も早い復興を祈りおきます。

長らく経済不況の中で皆様もあえぎながら日々お暮しのことと存じます。さて世相は世界的な視野で見ますと、かのリーマンショック以来、サブプライムショック、ドバイショック、ギリシャショック等でショックが来るたびに痛い目に遭つて破産する人が後をたたく、輸出低下、円高経済とデフレ傾向の悪循環に陥り、おまけに原発ショックが追い打ちをかけ、皆様方、経済的にも精神的にも非常に苦しんでおられます。

これを正すには今までの奢り高ぶりや捨てて、皆一丸となって南無妙法蓮華経と唱題行をなすことと存じます。

「かかる重病をたやすく癒すは、独り法華の良薬なり、ただすべからず汝仏にやらんとせば慢の輪を倒し、念の杖を捨てて偏に一乗に帰すべし」(持妙法華問答鈔定378)と日蓮聖人は示されております。ひたすらこの尊い良薬を受持し、妙法を信じ唱題の功德を重ねるべきなのでございます。そして吾々は一切の慢心を捨てて偏見を捨てて一心に修行すべきであります。とお諭しになっておられます。

大聖人様は「正直に方便を捨てて只法華経を信じ南無妙法蓮華経と唱える人の煩惱、業、苦の三道は……云々」とお示しになっておられるのでございせんか。吾々も大聖人様にならつて唱題行に邁進すべきではないのでしょうか。甚だ簡単ではございますが、ご挨拶の一端まで。

法華宗(陣門流)管長就任挨拶

法華宗本成寺貫首 石丸日然

從地ゆじゅつ

◆東日本大震災直後、「想定外」という言葉をよく耳にした。

◆確かに、映像で見たあの津波の様子は、想像を絶するもので、あらゆることが想定外であったように思える。大自然の力がいかに大きいか、それに比べて、人間の力がいかに小さなものであるかを思い知らされた。エネルギーとして安全に利用する技術が確立されたかのように言われてきた原子力でも、人間の能力では制御しきれないことが露呈した。

◆しかし、このような事態を想定できなかった最大の理由は、震災が起こるまでの毎日が平穏無事であったということではないのか？ それまでは、大地が暴れることなく、海が溢れることもなく、生命の危険を感じることもなかったからだ。それは何者かによつて護られていたということではないのか？

◆三月十一日、千年に一度とも言われるその大地震は起こった。「なぜ今年に限って？」という疑問が残る。

◆日蓮聖人が、正嘉元(一二五七年)の大地震を契機として述べた『立正安国論』によれば、天変地天の原因は、日本国を守護すべき諸天善神が去つてしまつたからという。それは、正法たる法華経の教えが廢れて法味を味うことができないためであり、人々に善悪・正邪を見分ける能力が無くなることによつて起こる。

◆これを踏まえて震災を考える時、我々は諸天に守護されるにふさわしい立派な考えを持ち、立派な行いをして来たといえるだろうか。

◆物・金・名誉などに執着して、素晴らしい教えがあるにも拘らず、それを捨て去り、人間としてあるべき姿を忘れてはいないだろうか。

◆この度の震災は、多くの犠牲者と物的被害を出したが、そこから得ることもあるだろう。何かメッセージを発しているようにさえ思える。今、人間のあり方が問われているのではなからうか。

◆我々は、当り前に得られるものについて、その有り難みが分からない。大自然に守られ、諸天の守護を受けているもその自覚が薄いのではないか。それは、病気になるって初めて健康の有り難さが分かるのと同じだ。教えも同じで、目の前に法華経という立派な教えが伝えられているにも拘らず、軽んじたり誇つたりしてはいないだろうか。この国に正法が流布し、国土も衆生も安らかである事を切に願う。(量)

日蓮聖人門下連合会

●目的
本会は日蓮聖人の理想を実現するため、祖廟を中心として門下各派及び教団並びに地方門下連合会の連絡、協力、団結を強化することを目的とする。

●事業

- 1、祖廟護持の組織強化
- 2、教育事業の提携
- 3、布教の連合強化
- 4、懇談会・研究会・講演会等の開催
- 5、各種出版物の刊行
- 6、海外布教の提携及び交流
- 7、対外的な各種の運動
- 8、その他

●加盟団体

日蓮宗	法華宗本門流
顕本法華宗	法華宗陣門流
本門佛立宗	日蓮本宗
法華宗真門流	本門法華宗
国柱会	日本山妙法寺
京都門下連合会	

東日本大震災 現状報告および活動内容

東日本大震災で亡くなられた方々のご冥福をお祈りし、被災された方々にお見舞い申し上げますとともに、一日も早い復興をお祈り申し上げます。ここに日蓮聖人門下連合会加盟団体の現状と震災に対する活動内容を報告いたします。

日蓮宗

本年三月十一日、日蓮宗では第百二定期宗会最終日の最中、二時四十六分に震災が発生した。渡邊照敏宗務総長を災害対策本部長とする日蓮宗では、直ちに被災地域における安否確認及び情報収集が行われ、日蓮宗ポータルサイトに情報が掲載された。

首都圏計画停電が実施されることとなった十四日、「義援金勸募依頼」や「計画節電に伴う宗務院業務体制」等、大震災に対する義援金や宗門体制について全国七十四管区宗務所へ通達された。続き、十七日には阪神大震災と同様に、日本赤十字社に対し第一次義援金壹千万円を寄付した。

震災より初七日にあたる十八日、東京都大田区の日蓮宗宗務院講堂にて震災物故者諸霊位慰霊法要並びに東日本被災者に対する祈願回向が行われた。

二十三日、日蓮宗では「東北大震災」を大規模災害と指定し、被災地に見舞金及び運営資金等を拠出した。翌二十四日、日蓮宗管



百箇日忌法要

長内野日総院下は全国寺院・教会・結社へお見舞いと激励のメッセージを發した。

四月五〜七日、宗務役員による現地調査開始。

二十一日、宗務総長が東北三県の宗務所長と宮城県にて合同会議。二十六日、東日本大震災対策会議を設置。

二十九日、宗務総長の呼びかけにより各寺院・教会・結社にて四月十九日忌法要を実施。

六月十八日、仙台孝勝寺にて百箇日忌法要実施。

法華宗本門流

三月十一日 地震発生。宗務院より電話にて安否確認及び情報収集。宗務内局職員の帰宅難民化。

十四日「東北地方太平洋沖大地震災害対策本部（現 東日本大震災災害対策本部）設立。宗内の被害状況の確認（福島県二カ寺 茨城県二カ寺）。

十五日 宗内寺院教会へ被害状況報告と義捐金ポスターの發送。宗内有志より緊急救援物資を宗務院



法華宗本門流ポスター



第一次岩沼派遣隊

に搬入開始。

四月 宗門機関誌「無上道」四月号 お見舞い文掲載。

四月 福島県一カ寺・避難所・宗内関係地へ救援物資の搬送。

四月 宗門年中法要である千鳥ヶ淵墓苑戦没者慰霊法要に併せ東日本大震災慰霊法要を奉修。

五月 宗門機関誌「無上道」五月号 震災記事掲載（被災寺院より報告等）。

六月 宗門機関誌「無上道」六月号 震災記事掲載（宗内僧侶の支援記等）。

六月 岩手県庁を訪問し、義捐金七百万円を寄付。

六月 宮城県庁を訪問し、義捐金七百万円を寄付。

六月 宗内機関「菩薩行研究所」百ヶ日忌法要を仙台要所にて奉修。

六月 福島県庁・茨城県庁を訪問し、義捐金各七百万円を寄付。宗内被害寺院に支援金各二百万円を

寄付。
二十四日 宗内青年会、仙台にて慰霊法要を奉修。
七月 宗門機関誌「無上道」七月号 震災記事掲載（宗内僧侶の支援記等）。

顕本法華宗

◆顕本法華宗では、震災直後より被災者義援金の募集を開始。六月には朝倉俊幸宗務次長はじめ内局員が開祖日什大正師誕滅の地・福島県会津若松市の市役所を訪問、被災者支援に直接役立てていただくよう菅家一郎市長に義援金を手渡す。その他、関係各機関を通じて宗内から寄せられた義援金を送っている。今後も数回（数年）にわたり、義援金の募集を継続していく。

◆三月十三日〜四日間、顕本法華宗青年僧侶の会「顕青会」が、茨城県神栖市において炊き出しを実施。食料千四百人分、水二トンを提供。以降、四月中旬まで神栖・鹿島地域の復興支援を行う。

◆四月十九日には、宗内有志による第一次被災地復興支援団が石巻へ入る。以降、五月二日第二次、南相馬、五月九日第三次、石巻・東松島、五月十九日第四次、岩沼、五月二十四日第五次、塩釜、六月五日第六次、陸前高田、六月十四日第七次岩沼、六月十八日第八次、気仙沼、南三陸町、六月二十日第九次、南相馬、七月四日第十次、岩沼、七月十一日第十一次、陸前高田と計十一回にわたって現地入りし、それぞれ三〜四日の日程で各被災地域の仮埋葬場清掃・瓦礫の撤去・イベント補助・

写真の清掃などを行う。また、各所へ水・食料・土嚢・電機工具・スーツ・下着・虫よけスプレー・長靴・ウェットタオル・花などの支援物資をお届けした。

法華宗陣門流

◆関西においては、四月一日〜四日、京都府向日市で「京都災害ボランティア支援センター」が行った救援物資仕分けボランティアに本山から二名が参加。また、四月二十日〜二十一日と六月一日、関西青年僧侶の会「什青会」が中心となり、京都・四条河原町において街頭募金を実施した。

◆東北教区では宮城県の寺院において本堂の壁、窓ガラスや仏具が破壊され、倒壊の危険性有り。その他、参道の地割れ、墓石の倒壊など甚大な被害があった。福島県の檀信徒も多数被災し、家屋内部の崩壊が激しい。

◆新潟教区では二寺院において微少な被害が有り、また数軒の檀信徒宅が被災した。

◆関東教区では、茨城県の二寺院が被災し、漆喰、壁、タイル等々がび割れ、仏具の破損著しく、数多くの石灯籠や墓石が倒壊した。また檀信徒も数多く被災し、農林水産業に従事する檀信徒は福島原発の影響を受けている。東京都でも一寺院で天蓋の落下、本堂壁の崩落など大きな被害があった他、一都二県でも八寺院において建物、仏具、墓石、灯籠等に数多くの被害があった。また、三軒の檀信徒宅が安否不明である。

◆これらの被害寺院への支援のため、宗門において義援金を募り、現在七百七十万円の寄付をいただき、最も被害が甚大であった宮城県の寺院に五百万円が送られた。

また、赤十字や各地方自治体への寄付は教区や寺院単位で行われており、関西教区から宗務院を通して赤十字へ百万円、北陸の教区寺院、題目講、

五面へ続く

一枚の切符から 国内・海外 団体参拝旅行まで

近畿日本ツーリスト 団体参拝実施部



東京
〒101-0024 東京都千代田区神田和泉町 1-13 住友商事神田和泉町ビル 11F
TEL 03-6891-9513 FAX 03-6891-9516

京都
〒604-8005 京都府京都市中京区河原町通三条上ル 近畿日本ツーリスト河原町ビル 6F
TEL 075-255-1425 FAX 075-255-4968



東日本大震災からの
一日も早い復興を
心から祈念申しあげます

(平成二十三年九月現在)

日蓮宗宗務院

宗務総長 渡邊照敏 財務部長 米田宣雄
 伝道局長 関谷泰教 宗務総長室長 渡邊義生
 総務局長 駒野教源 現代宗教研究所長 三原正資
 伝道部長 古河良皓 参 与 渡邊一之
 教務部長 塩崎望巳 参 与 吉田海心
 総務部長 梶山寛潮 日蓮宗新聞社社長 草ヶ谷秀人

〒146-8544 東京都大田区池上一-1321-15
 電話 〇三(三七五〇)七一一五
 FAX 〇三(三七五〇)七一一八

法華宗(本門流)宗務院

管 長 菅原日桑
 宗務総長 二瓶海照
 庶務部長 佐藤義賢
 財務部長 久永晃顕
 布教部長 斎藤舜顕
 教務部長 金井孝顕
 松本義仙

〒103-0013 東京都中央区日本橋人形町二-19-1
 電話 〇三(五六一四)三〇五五(代)
 FAX 〇三(五六一四)三〇五六

顕本法華宗宗務院

管 長 中村日玄
 宗務総長 藤崎広学
 宗務次長 朝倉俊幸
 財務部長 藤崎行学
 教務部長 早川義正
 布教部長 吉永康成
 庶務部長 阿曾久安
 社会部長 飯澤道安

〒606-0015 京都市左京区岩倉幡枝町九-1
 電話 〇七五(七九二)七二七一
 FAX 〇七五(七九二)七二六七

法華宗(陣門流)宗務院

管 長 石丸日然
 宗務総長 佐古弘文
 総務部長 門谷光瑞
 教務部長 布施義高
 教化部長 佐古大弦
 財務部長 金原孝宜
 企画部長 今井満良

〒170-0002 東京都豊島区巢鴨五-135-16
 電話 〇三(三九一八)七二九〇
 FAX 〇三(三五七〇)〇二二一

本門佛立宗宗務本庁

宗務総長 佐藤日凰
 宗務副総長 梅田日芳
 宗務副総長 伊藤隆之
 教務局長 亀井日魁
 弘通局長 長谷川日堯
 総務局長 岡本日盈
 出版局長 藤本日涌
 財務局長 西村日勲

〒602-8377 京都市上京区御前通一条上東盛町二-〇番地
 電話 〇七五(四六一)一一六六(代)
 FAX 〇七五(四六四)五五九九

日蓮本宗宗務院

管 長 嘉儀日有
 宗務総長 岩崎広義
 宗務部長 岩崎広義
 財務部長 原田智光
 教務部長 原光

〒606-8362 京都市左京区新高倉通孫橋上七法皇町四四八
 電話 〇七五(七七二)三三九〇
 FAX 〇七五(七七二)五九一四

法華宗(真門流)宗務庁

管 長 田中日生
 宗務総長 寺田完英
 総務部長 掘田智泰
 教務部長 堀内浩善
 教化部長 木村完祥
 財務部長 安立修学
 社会部長 上田泰源

〒602-8447 京都市上京区智恵光院通り五辻上丸紋屋町三〇
 電話 〇七五(四四一)五七六二
 FAX 〇七五(四四一)五六六六

本門法華宗宗務院

管 長 松下日肆
 宗務総長 松井日靖
 宗務副総長 藤田隆雄
 総務部長 増田日雄
 宗務部長 吉村日彦
 財務部長 土畑信教
 教務部長 山田岳隆
 庶務部長 高邊晶啓

〒602-8418 京都市上京区寺之内通大宮東入大本山妙蓮寺内
 電話 〇七五(四五二)三三二七
 FAX 〇七五(四五二)三五九七

宗教法人 国柱会

賽主 田中壮谷
 理事長 田中勇一郎
 門連常任理事 本間直暉
 門連理事 藤本坦孝
 門連理事 原田義彦
 編集委員(門連だより) 森山真治
 編集委員(門連だより) 的場春奈

〒132-0024 東京都江戸川区一之江六一-19-18
 電話 〇三(三五六〇)七二二一(代)
 FAX 〇三(三五六〇)九九八〇
<http://www.kokuchukai.or.jp>

京都日蓮聖人門下連合会

会 長 伊丹日章
 副会長 菅原日桑
 理事長 藤井照源
 副理事長 赤田泰宏

京門連事務局
 〒606-8376 京都市左京区二条通川端東大菊町九六
 頂妙寺布教会館内日蓮宗京都府第一宗務所内
 電話 〇七五(七六二)二四一一
 FAX 〇七五(七五二)九三三八

日本山妙法寺大僧伽

首 座 吉田行典
 責任役員 酒井天信
 同 今井行康
 同 池田行朗
 同 二宮和嘉
 同 木津博充
 同 川岸行孝

日本山妙法寺大僧伽事務局
 〒150-0045 東京都渋谷区神泉町八一七
 電話 〇三(三四六一)九三六三
 FAX 〇三(三四六一)九三六七

<p>顕本法華宗総本山 妙満寺</p> <p>〒606 0015 京都市左京区岩倉幡枝町九一 電話 〇七五(七九二)七二七一 FAX 〇七五(七九二)七二七六</p> <p>貫首 中村日玄 事務 古瀬久馨 執事 山本晃道 執事 湯村英司 執事 小川正純 執事 小川正純</p>	<p>法華宗(本門流)大本山 本興寺</p> <p>〒660 0862 兵庫県尼崎市開明町三一―一三 電話 〇六(六四一)三三二七 FAX 〇六(六四一)二四三六</p> <p>貫首 小西日遼 執事 長圓成淳龍 役員 一同</p>	<p>日蓮宗大本山 池上本門寺</p> <p>〒146 8576 東京都大田区池上一―一―一 電話 〇三(三七五)一三三三一 FAX 〇三(三七五)三三五〇</p> <p>貫首 酒井日慈 執事 長野坂法雄 役員 一同</p>	<p>日蓮宗総本山 身延山久遠寺</p> <p>〒409 2593 山梨県南巨摩郡身延町身延 電話 〇五五六(六二二)一〇一一 FAX 〇五五六(六二二)一〇九四</p> <p>法主 内野日総 総務 井上瑞雄</p>
<p>多寶富士山 日蓮本山 本山要法寺</p> <p>〒606 8362 京都市左京区新高倉通孫橋上ル法皇町四四八 電話 〇七五(七七二)三三九〇 FAX 〇七五(七七二)五九一四</p> <p>貫首 嘉儀日有 大学 頭 丹治日遠 執事 長 岩崎広義 執事 原田智光 執事 原田智光</p>	<p>本門法華宗大本山 妙蓮寺</p> <p>〒602 8418 京都市上京区寺ノ内通大宮東入妙蓮寺前町八七五 電話 〇七五(四五二)三五二七 FAX 〇七五(四五二)三五九七</p> <p>貫首 松下日肆 執事 長 音羽隆全 役員 一同</p>	<p>法華宗(真門流)総本山 本隆寺</p> <p>〒602 8447 京都市上京区智恵光院通り五辻上ル 紋屋町三三〇 電話 〇七五(四四一)五七六二 FAX 〇七五(四四一)五六六六</p> <p>貫主 田中日生 執事 長 足立真正 執事 本多信正 書記 永岡悠希 書記 笹木研吾</p>	<p>法華宗(陣門流)総本山 本成寺</p> <p>〒955 0845 新潟県三条市西本成寺一―一―一〇 電話 〇二五六(三三三)〇〇〇八 FAX 〇二五六(三三三)〇〇五九</p> <p>貫首 石丸日然 執事 長 鈴木顯正 執事 栗原孝之 執事 荒川公孝 執事 近藤正文 執事 五十嵐義昭</p>
<p>日蓮宗靈跡本山 比企谷 妙本寺</p> <p>〒248 0007 鎌倉市大町一―一―一五 電話 〇四六七(二二二)〇七七七 FAX 〇四六七(二二二)六九六七</p> <p>貫首 早水日秀 執事 長 立野正泰 山務役職員一同</p>	<p>宗祖御降誕靈場 日蓮宗大本山 誕生寺</p> <p>〒299 5501 千葉県鴨川市小湊一八三 電話 〇四(七〇九五)二六二一 FAX 〇四(七〇九五)二〇五五</p> <p>貫首 石川日命 執事 長 村田教清</p> <p>宗祖御降誕八百年に向かつての祈り</p>	<p>日蓮宗大本山 清澄寺</p> <p>日蓮聖人出家開度の靈跡</p> <p>〒299 5505 千葉県鴨川市清澄三二二―一―一 電話 〇四(七〇九四)〇五二五 FAX 〇四(七〇九四)〇五二七</p> <p>別当 二宮將泰 役員 一同</p> <p>団参には是非、研修会館をご利用ください。 一六〇名様まで可。</p>	<p>本門佛立宗本山 宥清寺</p> <p>〒602 8336 京都市上京区一条通七本松西入滝ノ鼻町二〇五―一―一 電話 〇七五(四六三)四六二〇(代) FAX 〇七五(四六三)四六五一</p> <p>住職 二十四世講有 小山日誠 執事 長 中西清乘 事務局長 伊藤隆之</p>
<p>日蓮宗本山 頂妙寺</p> <p>〒606 8376 京都市左京区仁王門通川端東入大菊町九六 電話 〇七五(七七二)〇五六二 FAX 〇七五(七五二)一〇〇四</p> <p>貫首 安藤日瑛 参 与 伊東隆司 同 宇根海静 同 新林照昭 執事 長 藤井知孝 同 川合陽雄</p>	<p>やくよけ祖師 日蓮宗本山 堀之内妙法寺</p> <p>〒166 0013 東京都杉並区堀之内三一―四八―一八 電話 〇三(三三三)六二四一 FAX 〇三(三三三)五〇〇七</p> <p>山主 嶋田日新</p>	<p>日蓮宗大本山 中山法華経寺</p> <p>〒272 0813 千葉県市川市中山二―一―一〇―一 電話 〇四七(三三四)三四三三 FAX 〇四七(三三四)一七九六</p> <p>貫首 新井日湛 参 与 田代浩敬 同 渡辺行俊 同 植田観樹 同 吉田文堯 同 布施慈範</p>	<p>日興上人御聖廟 日蓮宗大本山 富士山法華本門寺根源</p> <p>〒418 0112 静岡県富士宮市北山四九六五 電話 〇五四四(五八)一〇〇四 FAX 〇五四四(五九)〇三〇三</p> <p>貫首 旭日重 執事 長 川名義顕 参 与 吉田日綱 参 与 井野上正文</p>
<p>東日本大震災からの 一日も早い復興を 心から祈念申し上げます</p> <p>平成二十三年九月現在</p>	<p>徳川家康公報恩創建 日蓮宗由緒寺院 瑞輪寺</p> <p>除厄安産飯匙の祖師・七面大明神奉安</p> <p>〒110 0001 東京都台東区谷中四―二―一五 電話 〇三(三八二)四三七三 FAX 〇三(三八二)七〇三三</p> <p>貫首 井上日修</p>	<p>京都 八本山会</p> <p>本山 本満寺 貫首 伊丹日章 大本山 本園寺 貫首 吉田日厚 大本山 妙顕寺 貫首 和田日佑 本山 立本寺 貫首 上田日瑞 本山 妙傳寺 貫首 野々垣白祐 本山 頂妙寺 貫首 安藤日瑛 本山 妙覺寺 貫首 及川日周 本山 本法寺 貫首 瀬川日照</p>	<p>日蓮門下お題目初唱之靈場 日蓮宗本山東身延 藻原寺</p> <p>〒297 0026 千葉県茂原市茂原一―二―一〇―一 電話 〇四七五(二二二)三二五三 FAX 〇四七五(二二二)二二七三</p> <p>貫首 持田日勇 総務 増田寶泉 執事 長 富永一道 参 与 中川貫泰</p>

二面より続く
婦人会から北日本新聞を通して百万円の義援金が送られた。

日蓮本宗

福島県を中心に構成される日蓮本宗第三教区の寺院は、御開山日尊上人有縁の地であることから十四力寺を数える。沿岸部に建つ寺院はないため津波の被害はないが、地震による建物損壊が著しい。

福島市の本法寺（野津智龍住職）は本年五月に本堂・庫裏の落慶法要を迎える予定であったが、新築された本堂二階の回廊部分天井が落下、仏具の破損に加え、建物には亀裂が生じ、墓石倒壊などの被害を受けた。

福島県伊達郡桑折町の妙藏寺（佐藤智憲住職）は本堂の内部構造が破壊され、柱と梁がずれたり、壁・天井・瓦が落下した。境内では参道の地割れや陥没、灯籠・墓石・門柱などが倒壊し、被害は多々に及んだ。

その他、当教区内の殆どの寺院で建物や墓地を中心に被害がでており、また十世帯以上の檀信徒が避難所生活を送った。

この状況を受け、京都の本山要法寺と宗務院では、全国末寺・教師・檀信徒からの見舞金総額三百七十八万円あまりを本年七月に第三教区に届けた。

法華宗真門流

大震災直後に宗務庁より門末各寺院に、大震災義援金の勸募を募り、三月末までに集められた義援金を、日本赤十字社に寄託。

総本山本隆寺では、春季大法要中の四月十二日、「東日本大震災犠牲者追悼法要」を営み、この法要に際し、門末各寺院、檀信徒より寄せられた義援金を、京都新聞社に寄託。

北海道、福井県、兵庫県等より青年僧有志が四月二十六日、大震

災四十九日を迎えるにあたり、盛岡市に結集し、市内日蓮宗法華寺様本堂にて慰霊法要を営み、翌二十七日より大船渡市を最初に訪れた後、二班に分かれ岩手県全域、宮城県気仙沼市、南三陸町までの遺体安置所、遺骨安置所、海岸等で水、餅、パン等を供え慰霊供養行脚を行った。今後は、青年壮年僧を主体として、慰霊行脚を行う予定。

本門法華宗

本門法華宗では、東北・北関東地方に寺院・教会がないため、被災の報告はありませんでした。

五月より、東日本大震災に関する本門法華宗「義援金」への協力をお願いしています。

国柱会

この度の東日本大震災においてお亡くなりになられた精霊位全ての菩提増進を度んでお祈りいたしますとともに、被災された皆様には心よりお見舞い申し上げます。国柱会では、三月十一日に発生した東北地方太平洋沖地震の翌日より、遭難者諸霊位のご回向を始めました。また、当会の機関誌『真世界』誌上において義援金の受付を開始し、全国の国柱会会員よりお寄せ頂いた義援金は、国柱会本部理事会の決定で、震災の被災



【国柱会】遭難者慰霊法要（釜石市）

状況に応じて分配し直接東北地方在住の会員同志の皆様にお渡しいたしました。東北地方在住会員の被災状況は、ご家族が行方不明（二件）、家屋流出（二件）、家屋半壊（七件）となっており、福島県の会員宅においてはその後の大きな余震によって半壊となったという報告がございました。

（記 森山真治）

日本山妙法寺

原子力発電所の廃炉や核兵器の廃絶、米軍基地の撤退、憲法9条の堅持などを訴え、僧侶らが東京から広島までを歩く「平和行進」が2日、名古屋に入った。

今年で54回目。6月11日に東京を出発し、8月6日の広島での平和記念式典までに各地で平和を訴える。

行進には日本山妙法寺（東京都）の僧侶や地元支援者ら約20人が参加した。県内には6月29日に入り、この日は名古屋市役所、愛知県庁、中部電力本社前、平和公園などを歩いた。

団長で同寺僧侶の武田隆雄さん（58）は「今年は震災の被害者の慰霊と脱原発を特に訴えている。例年に比べて励ましの言葉をかけられることが多い」と語った。

3日には陸上自衛隊守山駐屯地や航空自衛隊小牧基地などを訪れ、岐阜に入る予定。（川村真貴子）
※朝日新聞名古屋版7月3日付より

京都門下連合会からのお知らせ

京都日蓮聖人門下連合会（藤井

照源理事長）は、平成二十三年八月二十七日（土）第四十七回夏季大学を本能寺文化会館を会場に開催した。テーマは日蓮聖人の誠心を永遠に語り継ぐー今生きるよるこび生かされるよるこびーで三人の講師を招く。

門連結成五十周年記念誌「五十歩の歩み」発刊奉告並びに身延理事会開催さる

うにとらえ、我々のなすべき事は何かをテーマに講演された。会場は京都市役所前の本能寺文化会館で、八月二十七日（土）九時三十分受付、十時より京都日蓮聖人門下連合会会長・日蓮宗本山本満寺貫首伊丹日章現下導師のもと開講式。

平成二十三年七月六日（水）、門連結成五十周年記念誌「五十歩の歩み」発刊奉告が日蓮宗総本山身延山久遠寺内、日蓮大聖人祖廟において厳修され、全国日蓮聖人門下連合会顧問・常任理事・理事・監査・大阪門下懇話会理事長等、二十五名が参加した。

午前十一時半、全門連渡邊照敏理事長の導師のもと、「五十歩の歩み」を祖廟に奉呈し法味を言上。その後記念撮影が行われた。続き、大本堂に場所を移し法味を言上。午後一時半より理事会が開催された。渡邊理事長が議長となり議題に「五十歩の歩み」発刊奉告祝賀会が厳かに開催された。

▼人事（事務局への連絡日を含む）

年月日	氏名	宗派	門連役職	就任	退任
平成二三・三・二四	頂岳日選 伊丹日章	日蓮宗	理事	就任	退任
平成二三・四・一四	佐古弘文（代理） 石丸日然	法華宗陣門流	顧問	就任	退任
平成二三・五・一	吉本宣文 赤田泰宏	京都門下連合会	理事	就任	退任

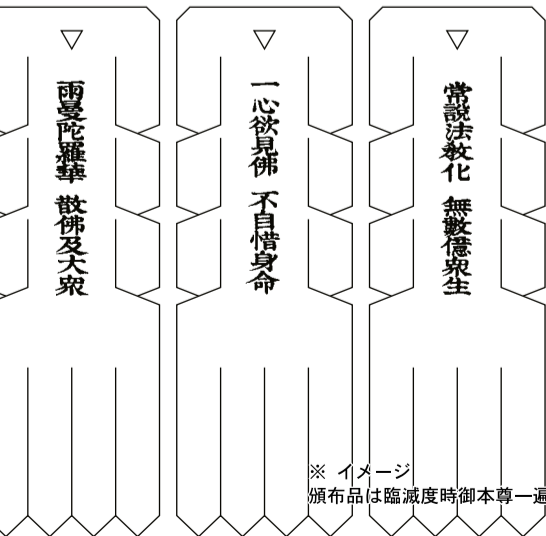
施餓鬼小旗セット

頒布価格 **7,875 円**
(税込・送料別)

施餓鬼小旗（約縦 202 mm × 横 67 mm）
経文入各色（緑・白・赤・青・黄）× 20 枚、
臨滅度時御本尊一遍首題入（白のみ）× 10 枚、
経文無各色 × 20 枚
合計 200 枚・箱入
竹串（約 24 cm）100 本



※本体箱



※イメージ
頒布品は臨滅度時御本尊一遍首題です

お申し込みは **日蓮宗新聞社** TEL 03-3755-5271
〒146-0082 東京都大田区池上 7-23-3 FAX 03-3753-7028

